

AI:

1. 事実性の乱れ
  - ・言っていない結論を決定事項として書く
  - ・発言者/担当者の混同
  - ・時系列の崩れ
2. 推測補完で誤った情報が出る
  - ・重要な項目(例外条件を含む)が削られる
  - ・議論中の題材が決定済み/解決済みとしてまとめられる
  - ・欠けている部分を推測として勝手に追加される
3. 再現性・運用面の不安定さ
  - ・同じログ・プロンプトでも結果が都度異なる/ブレが出る
  - ・きれいな文章形が意識され、監査・証跡が弱くなる
  - ・間接的な要点重複による影響の推測(UIの重なり/廃止機能の残留など)
4. リスク
  - ・機密情報や個人情報を含むログを外部AIに流す危険性

人:

1. コスト・スピード
  - ・都度時間がかかる
  - ・重要タスクを先行し、鮮度が落ちる可能性がある
  - ・ログの量が多いとスケールしない/面倒くさがる
2. 主観バイアスと選択的要約
  - ・作成者の理解に引っ張られ、都合の良い整理になる
  - ・「重要そう」に見える部分を厚く書き、致命的な制約を見落とす
  - ・上下の関係によって、発言バイアスがかかる
3. 形式・粒度の不一致
  - ・人によって、テンプレが合っても微妙に異なる
    - ・担当の引継ぎなどで言葉や書き方に癖がみられる
4. 単純ミス
  - ・コピペのミス、日時や数字の打ち間違い、別トピックとの混同

# このプログラムで解決できると予測していること

- ・事実・推測の混同
- ・重要項目の欠落
- ・時系列の崩れ
- ・推測補完の除去
- ・形式の統一化(テンプレート/言葉/書式)
- ・生成コスト(時間・労力)の減少
- ・タイプミスや見間違いなどの人的ミス